

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	プロッサムジュニア高島教室		
○保護者評価実施期間	2026/1/23		2026/2/6
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026/1/23		2026/2/6
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/10		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達段階に合わせた支援の実施	定期的にケース会議を実施し、お子様の状態を共有するとともに、個別支援計画における目標の共有や認識のズレを矯正している。また、毎日の朝礼終礼において、支援の様子や保護者からの情報提供等の情報共有を徹底している。	療育の質を向上するための社内研修や自己研鑽をはじめ、ワンチームで療育を行うためのチームマネジメントの充実を図っていく。
2	保護者同士の交流および支援を学ぶ場の提供	2ヶ月に1回程度、保護者同士の交流およびペアレントトレーニングを目的に実施している。内容は保護者から事前にヒアリングし、「今、学びたいこと」や「今、話したいこと」を中心に実施し、事業所側から情報提供をしている。	保護者向けのイベントについて年間スケジュールを作成し、定期的実施していく予定にしている。
3	有資格者の配置(作業療法士、保育士)	現場スタッフの経験や知見がお子様の支援に還元されるよう、それぞれのスキルを共有したり、OJTのような形で指導したりしながら進めている。	さらなる支援の質向上のため、職員採用を進めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育の質の向上については常に課題と感じており、スタッフのスキルアップに繋がる研修やワーク等を実施していきたい。	支援現場での経験があるスタッフや有識者が少ない。	個人またはチームで支援の質を高められるよう、地域の協議会に参加したり自主的な学習を進めたりしている。
2			
3			